

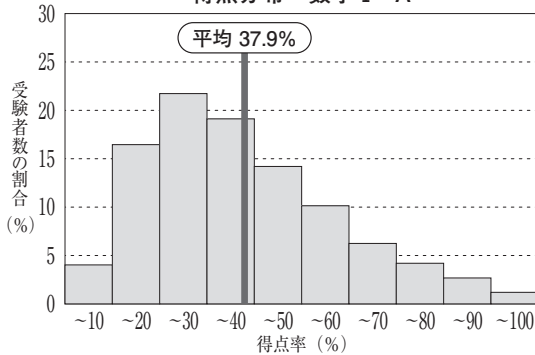
数学Ⅰ・数学A [高2生部門]

各分野の基礎の定着を徹底して行おう

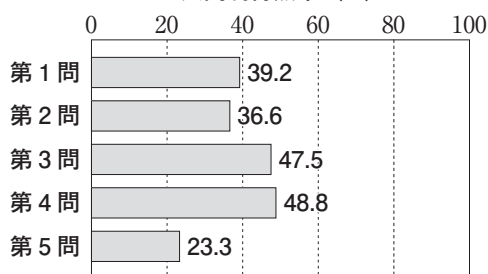
I. 全体講評

全国統一高校生テスト（高2生部門）数学Ⅰ・Aの出来はどうだっただろうか。今回の全国統一高校生テスト（高2生部門）数学Ⅰ・Aでは、数学Ⅰ（数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量）、数学A（場合の数と確率、整数の性質、図形の性質）から、全マークシート形式にて出題を行った。今回のような問題は、現段階では難しいと感じた人も多いだろうが、今後の自分の努力が次の高2レベルマーク模試での得点の伸びとなってそのまま表れるようになっている。次回の高2レベルマーク模試（11月18日（日）実施）も必ず受験し、目標得点を達成してほしい。今回の結果を受け、次の全国統一高校生テストに向けてやるべきことは、当然一人ひとり違うはずだ。得点が異なる人ではやるべきことが異なってくるし、たとえ得点と同じでも間違えた問題によって勉強の仕方は違ってくる。以下の学習アドバイスや合格指導解説授業を参考に、自分のプランにあった学習方法を学び取ろう。

得点分布 数学Ⅰ・A



大問別得点率 (%)



II. 学習アドバイス

◆数学Ⅰ・Aは基礎の完全定着を

数学Ⅰ・Aの内容は、数学Ⅱ・Bや数学Ⅲのベースになっている部分も多い。特に、数と式や2次関数などの曖昧な部分は、確実に理解し、完全に定着するまで徹底的に復習するようにしよう。

◆基礎を整理しよう

教科書の例題レベルが完全に理解できたら、それをノートに整理しておこう。理解が曖昧なままならすぐに、また理解したと思っていても長い間放置しておく、忘れてしまう可能性が高い。今後、様々な分野の知識を結び付けていくときにも整理したノートは役に立つはずだ。

今回の全国統一高校生テスト（高2生部門）で、自分の弱点がある程度ははっきりしたと思うが、結果に一喜一憂するのではなく、学習のペースメーカーとしていくために、次回11月18日実施の高2レベルマーク模試も引き続き必ず受験しよう。また、分野ごとのより詳しい得意不得意を知りたい人は、12月9日の「大学合格基礎力判定テスト」を受験するとよい。この模試をほぼ3ヶ月に一度受けることで「基礎」の定着度を正確に計ることができる。

さらに、今回の全国統一高校生テスト（高2生部門）に対する合格指導解説授業では、問題に対する解説はもちろん、今後の学習方針についても、明確に述べている。解説を読んだだけでは理解できない部分がある人は必ず、計画的に学習を進めていきたい人も是非、合格指導解説授業を受けよう。